

各教科の特性を踏まえた、東方中学校における「主体的・対話的で深い学び」を生む学習構成表

数学科

段階	定義	活動場面	教科の特性を考慮した活動（生徒の立場で記入する。）	ICTの活用
主体的な学び	<ul style="list-style-type: none"> ● 問いや疑問に対して、これまでに学習してきた知識や技能を使って、自分の考えをもつこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 課題を提示する。 ● 学習課題に関する問題を提示する。 ● 既習事項をもとに、個人で問題解決の方法を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本時の学習課題を確認する。 ● 前時までに学習した内容の中から、本時の学習課題に関することを確認する。 ● 問題を解くためにはどのような方法や手順を用いればよいか自分で考える。 ● 必要ならば具体物を観察したり、操作したりして、自分で問題解決の方法を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● パワーポイントなどで作成したプレゼンテーションを用いて、前時までに学習した内容から、本時の学習内容に関係した内容を提示して確認させる。 ● タブレット PC と授業支援ソフトを用いて、発表ノートを配付し、学習課題に対する自分の考えや目標などをまとめさせる。 ● 電子黒板とタブレット PC、スマートフォンを接続して、課題に関する資料の画像や動画を視聴させ、参考にさせたり、関心や意欲を高めさせたりする。 ● 教師用タブレット PC と授業支援ソフトを用いて、各生徒の考えを確認する。
対話的な学び	<ul style="list-style-type: none"> ● 他と対話しながら、自分の考えを比較・吟味するなどして、考えを広げたり深めたりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 問題解決のための最も適切な方法をグループで検討させる。 ● 各グループでまとめた考えを発表させ、全体で吟味する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● グループをつくり、各自が考えた問題解決の方法を、根拠を付けて発表する。 ● 問題解決のための最も適切な方法は何かを話し合って検討する。 ● グループの代表が図や式、フローチャートやモデルなどを用いながら、グループでまとめた考えを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 授業支援ソフトのグループ化機能を用いて、各自の考えを共有させる。 ● タブレット PC と授業支援ソフトを用いて、問題に対する解き方をグループで比較させ、最適な解き方は何かを検討させる。 ● 電子黒板を用いて、グループで話し合ったことを提示し発表させる。 ● 各生徒のタブレット PC 画面に学習課題に関する考えを提示し、どんな結論が導き出せるのか、根拠は何かグループで話し合わせる。

各教科の特性を踏まえた、東方中学校における「主体的・対話的で深い学び」を生む学習構成表

数学科

<p style="text-align: center;">深い学び</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分のこれまでの考えと新たな考えをつなげること。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本時の学習内容を整理する。 ● 本時に学習した内容と日常生活の事象を結びつけて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 問題解決の過程を振り返る。 ● 振り返りを通して、よりよい解決方法を考えたり、新たな問いを見いだしたりする。 ● 数学に関わる事象や日常生活や社会に関わる事象について関連づけたり、利用したりする。 ● これまでに学習したことと本時に学習したことを結びつけて整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電子黒板と授業支援ソフトを用いて、各自が考えた内容や学習課題に対する結論と根拠を提示し、全体で確認させたり、意見交換させたりする。 ● 本時に学習した内容をこれまでに学んだ内容について、整理・統合できることや、発展させられることなど、新たに考えたことなどをタブレット PC の画面にまとめさせる。 ● 本時に学習した内容に対して浮かんだ新たな疑問を、タブレット PC の画面にまとめさせる。
---	--	--	--	---